

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	鋼構造素材小委員会	主 査 名：山田丈富 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：緑川光正
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：鋼材の機械的性質・化学成分に関する既往の調査結果の収集並びに今後の調査方法の検討 2 年度：調査実施および整理 3 年度：調査実施および整理 4 年度：報告書の作成並びに調査結果の公表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：山田丈富 (千葉工業大学) 幹事：見波 進 (首都大学東京) 委員：佐藤篤司 (名古屋工業大学)、中込忠男 (信州大学)、松本由香 (横浜国立大学)、下川弘海 (JFE スチール)、多賀雅泰 (清水建設)、成原弘之 (大成建設)、西澤淳 (角藤)、堀江龍巳 (清水建設)、松下真治 (鉄骨建設業協会)、村山敬司 (中部鋼鉄)、服部和徳 (ベターリビング)、佐藤浩幸 (巴コーポレーション)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 目的に従って、鋼材の機械的性質・化学成分に関する既往の調査結果の収集並びに今後の調査方法の検討を行った。 2. 当初目的に加えて、鋼構造運営委員会の依頼により、各種鋼材の基準強度や板の許容曲げ応力度の根拠を明確にする為の検討を行っている。
委員会活動の問題点 ・課題	